

穀物の品質確保のために 会計部門から尽力したい

穀物の色彩選別機を製造販売し、食の安全を支えるアクティブ販売株式会社。その中で子育てをしながら仕事を続ける米穀事業部財務課の緑川清乃さんにお伺いしました。



アクティブ販売株式会社

米穀事業部財務課

緑川 清乃

2000年代初めに設立された 穀物の色彩選別機メーカー

当社は穀物の色彩選別機メーカーとして、2001(平成13)年にアクティブ販売会社が設立されました。穀物の色彩選別機メーカーとは、例えば白米を扱う場合、特にそのままの状態ではどうしても品質がすべてそろっていないわけではなく、質の悪い米が混ざっていたりもします。そのようなものを選び分ける機能の機械です。

グループ内で様々な業務を分社化して行っている中で、当社はオーダーメイドによる製造販売を担当、また機械の製造規模によってはもう1社のメーカーが手掛けます。

さらに仕入れを担当する会社があり、米をはじめピスタチオ、落花生、コー

ヒー豆の輸入などを行っています。

国内は千葉のほかに北海道、海外は台北に拠点があり、ネットワークを強化して、グループ各社が常に連携して業務を推進しています。

そのほかサンフランシスコに業務提携先があり、そこから機械やITに関するアメリカの最新鋭の情報を得るよう連携しています。

経理スキルは主に社内での向上 日々、学ぶことが多い職場

私は2005年に入社しました。実家が兼業農家であったことから、穀物に関連した当社の事業に親近感を抱いたことがきっかけです。事務担当として入社し、最初は国内機械事業部で機械の出荷準備の書類作成などを手掛け、その後はお米の事業部において、流通手

配をする仕事をしていました。さらにグループ会社でも勤務し、グループ全体の事業の流れを学ばせていただきました。その後は経理担当となり、現在に至っています。

経理自体は高校も商業科を卒業したので基本は分かっているかとは自分では思っていたのですが、ビジネスとなるとやはり話は全く別で勉強の積み重ねでした。最初は社長が制作したシステムに「使われて」いるようでしたが、徐々に知識を身に付け、自分でも「使う」ようになったのではないかと自負しています。

また経理では締めがあるので、資料を作成して数字をチェックしますが、



その際にも間違えないように、社長や周囲の人に必ず事前に確認する。何度も報告する。社内には相談しやすい空気があるのでこれはとても助かります。

新しい製品やシステムを お客さまに効果的に伝えたい

お客さまからの電話などにも対応しますが、こういった資料を用意しておけば迅速な対応ができるのか、またクレームが来た場合にはお客さまと営業の間の立場でどのような対処をすべきなのかを常に考えています。

そのほか、お客さまへの情報発信についても模索しています。新しいシステムや製品について、カタログやHPでどのように記載すれば効果的か。詳しくすぎて簡単すぎてもいけないし、端的に機能をお伝えしたい。うまくPRできるようにすることが目標でもあります。

子供を小規模保育園に預けて 仕事を続ける

私には1歳の子供がいるんですが、当社のすぐ近くに小規模保育園ができて、そこに子供を預けて仕事を続けています。自宅と職場は離れているので、自宅近くの保育園だと子供が熱など出すなど何かあった時に駆けつけるには仕事を中断しなくてはならない。子供

社長からひそひそ

代表取締役 高梨 昌浩



緑川さんはとても優秀で会計業務は安心して任せることができます。もう当社の「金庫番」といっていいでしょう(笑)。また貿易の財務までできる人材は中小企業には本当に貴重です。本当にいろいろな専門知識を苦労しながら身に付けてくれたと思います。

会社全体がそうですが、こうした機械やITの業界は特に流れや変化が早く、女性が出産や育児で長く休むとまだまだ現実的にはキャリアアップにつながりにくく、復帰した後もかなり苦労されます。会社側としても、慣れた人に長く働いてほしいと考えています。このような支援をしながら、社員が働きやすい環境を作っていきたい、社員には長く仕事を続けていってほしいと考えています。

アクティブ販売株式会社

千葉市中央区南町3-9-15
TEL : 043-300-7831